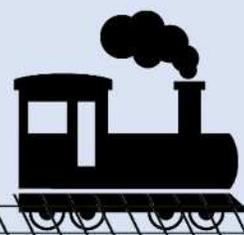


令和6年度文化財展

碧南と鉄道



三河鉄道

名鉄三河線

猿投～西中金間
碧南～吉良吉田間

開業

廃線

11年
20年

①



②



③



会期: 令和7年2月8日(土)～3月6日(木)

午前9時～午後9時 月曜日休館 ※2月24日(月・休)は開館し、翌日休館

会場: 碧南市文化会館 (碧南市源氏神明町4) 1階 展示室1

<観覧無料>

主催: 碧南市教育委員会 **所管:** 碧南市文化財課・市史資料調査室

①開通当時の大浜港駅(現碧南駅)周辺(大正3年) ③玉津浦海岸へ向かう御伽の国電車(昭和30年代)

②貨物であふれる大浜港駅(年月日不明)

碧南市域を縦断する名鉄三河線は、三河鉄道として大正3年（1914）2月5日に産声をあげました。大正15年（1926）9月1日に大浜港（碧南）～神谷（松木島）まで延伸すると、碧南の人々の交通や物流に大きな影響を与えました。しかし鉄道利用者は昭和40年代をピークに減少し、交通手段は自動車へと移り、平成16年（2004）4月1日をもって碧南～吉良吉田間は廃線となりました。

本年度は三河鉄道が開業して111年、名鉄三河線碧南～吉良吉田間が廃線となって20年になります。

そこで本展では三河鉄道関連の資料をはじめ、幻となった鉄道計画に関してや三河鉄道の歴史などにふれつつ、碧南市域の鉄道について市に収蔵される写真・資料などを中心にご紹介します。



三河鉄道名勝図絵



プラットホームに立つ出征兵士
(昭和12年10月13日)



三河鉄道の社章が入った小垣江駅鬼瓦 (高浜市蔵)



大浜港駅（現碧南駅）鬼瓦



碧南市指定民俗文化財

永坂左兵衛家鬼板枳形のうち大浜港駅停車場鬼瓦の枳形



大浜港駅（現碧南駅）駅舎(昭和初期)



三河鉄道開通記念絵葉書 部分

(※記載のないものはすべて碧南市蔵)

●ギャラリートーク

(担当学芸員による展示解説会)

無料 予約不要

令和7年2月15日(土)

3月1日(土)

ともに14時から30分程度。

展示会場にて行います。

●アクセス



名鉄三河線 碧南中央駅下車 東へ徒歩10分

●お問い合わせ

碧南市教育委員会 文化財課
市史資料調査室

〒447-0872 碧南市源氏神明町2

碧南市民図書館中部分館2階

TEL: 0566-41-4566

(開室時間: 火～土曜日 9～16時)